

TURNING THE LEAVES OF HORIZONS

Nerhol

水平線を捲る

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

September 6—November 4, 2024



会期: 2024年9月6日(金)～11月4日(月・祝) 主催: 千葉市美術館、朝日新聞社、協力: Yutaka Kikutake Gallery
休館日: 9月9日(月)、24日(火)、10月7日(月)、21日(月) ※第1月曜日は全館休館
開館時間: 10:00～18:00(金・土曜日は20時まで) ※入場受付は閉館の30分前まで
観覧料: 一般1,200円(960円)、大学生700円(560円)、小・中学生、高校生、高校生以上 ※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料
※ナイトミュージアム割引: 金・土曜日の18時以降は観覧料半額 ※10月18日(金)は「市民の日」につき観覧無料
※本展チケットで7階「Nerhol展関連 コレクション展」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。
千葉市美術館 Chiba City Museum of Art 〒260-0013 千葉市中区中京3-10-8 Tel. 043-221-2311(代表) https://www.ccoma-net.jp
※内容やイベントが変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。

(Caption continued) 2024 ©Nerhol Photo by Yusaku Tani

いま最注目アーティストデュオNerhol 美術館で大規模個展初開催!

- 会 期 2024年9月6日(金)～11月4日(月・祝)
 開館時間 10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで) ※入場受付は閉館の30分前まで
 休 室 日 9月9日(月)、24日(火)、10月7日(月)、21日(月) ※第1月曜日は休館日
 観 覧 料 一般1,200円(960円)、大学生700円(560円)、小・中学生、高校生無料
 ※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※()内は前売り、市内在住65歳以上の方の料金 ※前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ、ローソンチケット(Lコード: 34662)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて9月5日まで販売(9月6日以降は当日券販売)。
 ◎ナイトミュージアム割引: 金・土曜日の18:00以降は観覧料半額
 ◎10月18日(金)は「市民の日」につき観覧無料
 ◎本展チケットで7階「Nerhol展関連 コレクション展」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。
- 主 催 千葉市美術館、朝日新聞社 協力 Yutaka Kikutake Gallery

概要

Nerhol(ネルホル)は、田中義久(1980-)と飯田竜太(1981-)により2007年に結成されたアーティストデュオです。二人の対話を契機に、人や植物など「移動」にまつわる様々な事象のリサーチを通じ、他者に開かれてきた長年におよぶ表現活動の歩みを、美術館で初となる大規模な個展によって紹介します。

Nerholの活動は、グラフィックデザインを基軸とした田中と、彫刻家である飯田の協働性を特徴としています。人物の連続写真を重ねて彫る初期のポートレートから、今日では帰化植物*や珪化木*、アーカイブ映像まで対象を広げ、独自の世界観を深化し続けてきました。写真と彫刻、自然と人間社会、見えるものと見えないものといった複数の境界/間を、日々の会話のように行き来して紡がれてきた作品は、私たちが多様な解釈へと誘います。

「Nerhol 水平線を捲る」展では、これまでの活動における重要作や未発表作に加え、千葉市の歴史や土地と関わりの深い蓮をテーマとした最新作、さらには二人が選ぶ美術館のコレクションを展示し、この場所だけでしか体験できない空間を創出します。人間の知覚や現代社会における一義的な認識では捉えることができない、Nerholによる時間と空間の多層的な探究は、千葉の地で豊かな展開を見せることでしよう。

* 帰化植物 自生地から日本国内に持ち込まれ野生化した外来種の植物 * 珪化木 地中で長い時間をかけて珪酸が浸透し石化した植物

記者レクチャー・内覧会

一般公開に先駆けて報道関係の皆様を対象に、記者レクチャーおよび内覧会を行います。
 展覧会の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧いただけます。作家のNerholも来場します。

2024年9月5日(木)14:00～(13:30開場)／8階展示室にて

参加ご希望の方は、申込書に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにてご連絡ください。

作家紹介



Photo by Sakiko Nomura

○ Nerhol

田中義久と飯田竜太により2007年に結成されたアーティストデュオ。紙と平面的構成によるグラフィックデザインを行う田中と、紙や文字を素材とする彫刻家の飯田からなる。2012年に発表された、人物を数分間撮影し、出力された200枚のカットを重ね、彫刻を施したポートレートシリーズで大きな注目を集める。写真と彫刻を往還する独自の表現を通じ、現代的な視点から人間社会と自然環境、時間と空間に深く関わる多層的な探究を続けている。近年の主な個展に、「Tenjin, Mume, Nusa」(太宰府天満宮宝物殿、福岡、2024年)、「Beyond the Way」(レオノーラ・キャリントン美術館、メキシコ、2024年)、「Reverberation」(The Mass、東京、2023年)、「Affect」(第一生命ギャラリー／M5 GALLERY、東京、2023年)、「critical plane」(Yutaka Kikutake Gallery、東京、2021年)など。主なグループ展に「第八次椿会 ツバキカイ8 このあたらしい世界」(資生堂ギャラリー、東京、2021-23年)、「New Photographic Objects 写真と映像の物質性」(埼玉県立近代美術館、2020年)、「VOCA展2020 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」(上野の森美術館、東京、2020年)など。主な受賞歴に、「VOCA賞」(2020年)。

○田中義久 Yoshihisa Tanaka

グラフィックデザイナー。1980年静岡県生まれ。2004年武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科卒業後、2023年より慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科在学中。

○飯田竜太 Ryuta Iida

彫刻家。1981年静岡県生まれ。日本大学芸術学部美術学科彫刻コース卒業後、2014年東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。日本大学芸術学部准教授。

本展の見どころ

●いま最注目のアーティストデュオ Nerhol の大規模個展、美術館で初開催！

写真や映像を出力した紙を重ね、彫り刻んだ作品で国内外で評価されているアーティストデュオ Nerhol。2012年に発表されたポートレートのシリーズで大きな注目を集め、近年でも太宰府天満宮宝物殿(福岡)やレオノーラ・キャリントン美術館(メキシコ)をはじめ、国内外で精力的に作品発表を続けています。本展は、長年の活動とこれまで制作されてきた数々の重要作や未発表作を、アーティスト独自の視点によって再構成する公立美術館で初となる大規模個展です。これまでの制作を網羅的に鑑賞することのできる初めての展示となり、Nerholの作品の多様性を知る機会となるでしょう。

●千葉市をテーマとした最新作を発表、千葉市美術館でしか体験できない空間も

紙やその原料となる植物は、紙と平面的構成によるグラフィックデザインを行う田中と、紙や文字を素材に彫刻を制作する飯田にとって重要なモチーフの一つです。本展では、千葉市の花「蓮(オオガハス)」をテーマに、千葉市指定文化財である美術館1階のさや堂ホールに大規模なインスタレーションを展開します。また、Nerholの作品とともにふたりが選んだ美術館のコレクションも展示し、美術館だけでしか体験できない空間の創出を試みます。

●NFTの利用、建築家と協働した会場にも注目

二人の日々の対話を端緒に、協働して行われるNerholの活動は、外部へと拡張しながら、これまで様々なコラボレーションを生み出してきました。本展では、現代美術家、起業家であるスタートバーン株式会社代表取締役の施井泰平氏と対話を重ね、同社が提供するNFTを展覧会に実装、来場者はスタンプラリー形式でアートとデジタルテクノロジーの融合を体験できます。また、建築家の西澤徹夫氏に協力を仰ぎ、緻密に構成された展示計画も見どころです。

「Affect」第一生命ギャラリー展示風景より
2023年
Photo by Daisuke Shima Photography

短文テキスト例

【25字】

写真を重ねて彫刻を施す作品など最新作を含む個展

【50字】

写真を重ねて彫刻を施す作品で大きな注目を集めるアーティストデュオ Nerhol(ネルホル)、初の美術館個展

【100字】

人物や植物などの写真や映像を出力した紙を重ね、彫り刻んだ作品が国内外で評価されているアーティストデュオ Nerhol、初の美術館個展。千葉市をテーマとした最新作の他、未発表作を含むこれまでの活動を網羅的に紹介する

《Sonchus asper》2021年 ©Nerhol
Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery

■ 広報用画像一覧

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。ぜひ、本展をご紹介しますようお願いいたします。
ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAX またはメールにてご連絡ください。
画像の使用は1回限りとし、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。



1 《Spiraea cantoniensis》2023年 ©Nerhol
Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery Photo by Yosuke Torii



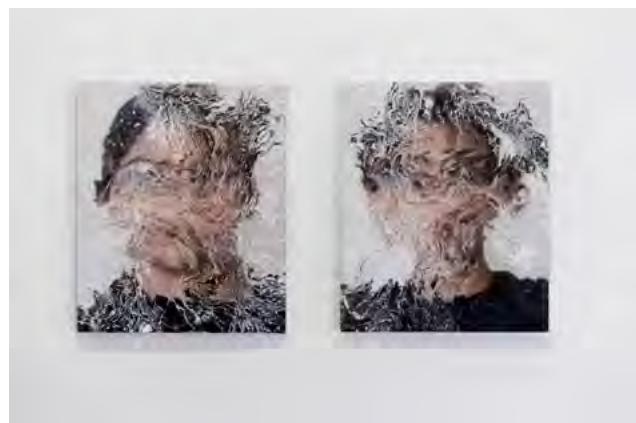
2 《Verbena brasiliensis》2023年
©Nerhol Courtesy of Yutaka
Kikutake Gallery Photo by Yosuke
Torii



3 《Sonchus asper》2021年 ©Nerhol
Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery



4 《Remove》2019年 第一生命保険株式会社蔵 ©Nerhol
Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery Photo by Shintaro Yamanaka(Qsyum!)



5 《Interview / Mr. Isao Pastelin》2024年 ©Nerhol
Courtesy of The AMMA Foundation



6 「Naturalized Species」イセタン ザ・スペース 2022年 ©Nerhol
Photo by Daisuke Shima Photography



7 「アベルト04 Nerhol Promenade / プロムナード」金沢21世紀美術館
2016年 ©Nerhol Photo by Shintaro Yamanaka(Qsyum!)

広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
- * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

千葉市美術館
広報担当 磯野 行
E-mail : isono@ccma-net.jp
FAX : 043-221-2316

貴社名：	媒体名：
ご担当者名：	発行予定日：
TEL：	発行部数：
FAX：	定価：
Email：	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ <small>(おおよそで結構です 例：5cm 四方、など)</small> ：

■画像データ申込 (ご希望のデータの番号に○をつけてください。)

- 1 《Spiraea cantoniensis》2023年 ©Nerhol Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery Photo by Yosuke Torii
- 2 《Verbena brasiliensis》2023年 ©Nerhol Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery Photo by Yosuke Torii
- 3 《Sonchus asper》2021年 ©Nerhol Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery
- 4 《Remove》2019年 第一生命保険株式会社蔵 ©Nerhol Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery
Photo by Shintaro Yamanaka(Qsyum!)
- 5 《Interview / Mr. Isao Pastelin》2024年 ©Nerhol Courtesy of The AMMA Foundation
- 6 「Naturalized Species」イセタンザ・スペース 2022年 ©Nerhol Photo by Daisuke Shima Photography
- 7 「アペルト04 Nerhol Promenade / プロムナード」金沢21世紀美術館 2016年 ©Nerhol
Photo by Shintaro Yamanaka(Qsyum!)

■「Nerhol 水平線を捲る」プレゼント用招待券申込

(ご希望の場合はチェックをつけてください)

5組10名様分 希望します。

(それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談ください。)

チケット送付先

ご住所：〒

問い合わせ先

千葉市美術館

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8

広報担当：磯野 愛

Tel. 043-221-2311 (代表) / 043-221-2313 (直通)

Fax. 043-221-2316

E-mail isono@ccma-net.jp

HP <https://www.ccma-net.jp/>

記者レクチャー参加申込書



記者レクチャー・内覧会 **2024年9月5日(木) 14:00～ 8階展示室にて**

報道関係の皆様を対象に披露説明会および内覧会を行います。
展覧会の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。
作家のNerholも来場しますので、この機会にぜひご取材ください。

[タイムスケジュール(予定)]

- 13:30～ 記者レクチャー会場へのエレベーター稼働・開場
- 14:00～ 担当学芸員より会場にてご説明
- 14:20～18:00 自由内覧
- 16:00～17:00 オープニングレセプション(11階講堂)

参加ご希望の方は下記項目にご記入の上、

E-mail: isono@ccma-net.jp または FAX: 043-221-2316

までご返信ください。

ご芳名

ご所属

貴媒体名

お電話番号

E-mail

問い合わせ先 広報担当 磯野 愛
Tel. 043-221-2313 (直通)
isono@ccma-net.jp

千葉市美術館
〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8
HP. <https://www.ccma-net.jp/>